

**英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業
 廃止措置研究・人材育成等強化プログラム
 事後評価総合所見**

研究課題名：遠隔操作技術及び核種分析技術を基盤とする俯瞰的廃止措置人材育成 研究代表者（研究機関名）：岡本 孝司（東京大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：高橋 隆行（福島大学） 再委託先研究責任者（研究機関名）：横小路 泰義（神戸大学） 研究期間及び研究費：平成26年度～平成30年度（5年計画） 402百万円	
項 目	要 約
1. 研究の概要	<p>東京電力福島第一原子力発電所の廃止措置は、非常に特殊な環境での作業となるため、多岐にわたる課題を深く理解し、かつ、専門領域にも通じた人材が必要で、廃止措置全体を総合的に俯瞰してリスクを低減できる人材が必須となる。本人材育成事業においては、遠隔操作技術と核種分析技術に関する専門的な研究開発を行い、これら技術の有機的な連携によるシステム化を図るとともに、キャリアパスを考慮した、総合工学としての廃止措置を俯瞰的に理解できる人材を養成することを目的として、以下の研究開発を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 遠隔操作技術に関する研究 2) 核種分析に関する研究 3) 廃止措置に関する俯瞰的人材育成
2. 総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="background-color: #cccccc; width: 30px; height: 30px; text-align: center; margin-right: 10px;">S</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・若手研究者・学生の人材育成について、事業期間中に多数のカリキュラムを整備、実践され、効果・実績が得られたこと、また、学生による海外での発表実績など、積極的な取り組みに評価ができる。 ・総合工学として廃止措置を俯瞰的に理解できる人材の育成に注目し、遠隔操作技術と分析技術をシステム統合した形を想定し、それぞれの基盤技術の研究実施や人材育成を進めていることを評価する。 <p>S) 特筆すべき優れた成果があげられている A) 優れた成果があげられている B) 相応の成果があげられている C) 部分的な成果に留まっている D) 成果がほとんどあげられていない</p> </div> </div>